

地域発展の条件均衡

1. テーマの理由

九州には、各地に観光スポットがあり、1年間を通じて、観光客でにぎわう都市、期間限定で客足の多い町、あまり人の集まらない町、様々である。なぜ、このような違いが起こるのか。

博多や沖縄などは、全国でも有数の観光地であり、観光客も多い。しかし、その他の町は、観光客や地元の人々に対するサービスを怠っているのだろうか。努力の足りない町もあるだろうが、大半は、地元の発展のために努力をしているはずである。

人が集まる町と、そうでない町の違いを下記に示す。

人気のある観光スポットが少ない。

企業が少なく、就職先が少ない。

地元のアピールが足りない。

交通の利便性に劣る。

まだまだ、要素はあるはずであるが、上記のように仮定した。

や は、各地域の努力が必要であり、各々地域住民を交え、アイデアを出し合い、解決する問題である。については、各地域の努力も必要であるが、の「交通の利便性」が確保されることも大きな要因になると考えられる。

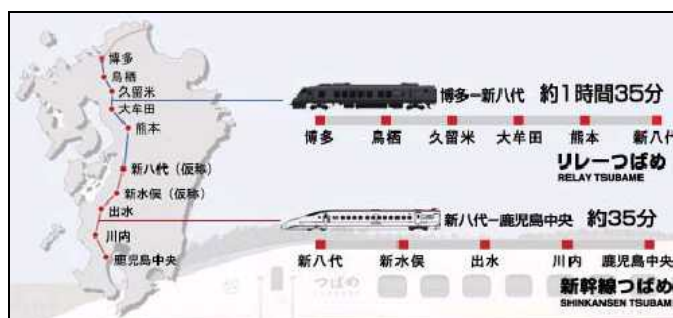
そこで、当レポートは、について記載する。

2. 提案内容

・高速自動車のインターチェンジと九州新幹線駅の分散化

九州には、各種交通機関があるが、大きな路線として、国道3号線・九州自動車道・2004年3月13日に開始される九州新幹線などがある。高速自動車道や九州新幹線などは、利便性が高いため、利用客も多く、インターチェンジや駅は、各町にとって、観光客等の玄関として大きな意味を持つ。モデルケースとして、八代～鹿児島間の交通について述べる。

九州新幹線は、新八代～鹿児島中央間に新水俣・出水・川内の駅を経由する。これは、特急つばめの停車駅の一部であり、これ以外の停車駅は、客足が少なくなることは否めない。



【九州新幹線経路】

八代～川内間では、九州新幹線と同時に肥薩オレンジ鉄道が開始されるが各駅停車の鉄道であり、利便性の高い交通機関とは言い難い。



【肥薩オレンジ鉄道経路】

そこで、南九州西回り自動車道のインターチェンジを九州新幹線停車駅以外の町にも設置することで、利便性を高め、どの町に対しても同じ条件の下で地域発展への努力が行えるのではないかと考える。



【高速自動車道経路】